

マクベス概略

ヴェルディ作曲：マクベス

台本：フランチェスコ・マリア・ピアヴェ

配役

マクベス：バリトン

マクベス夫人：ソプラノ

バンクォー：バス

マクダフ：テノール

マルコム：テノール

全4幕

第1幕

第1場 スコットランドとイングランドの国境の荒野。魔女たちの予言 ここで、マクベスはコーダの領主から未来のスコットランド王になることを予言される。しかしバンクォーは王の父親になることを予言される。

そこに、コーダの領主が処刑され、マクベスがコーダの領主となったことが伝令によって告げられる。予言が当たったことを知るマクベス。

この第1場はシェイクスピアの舞台では第3場になる。

第2場 インバネスのマクベスの城。マクベス夫人はマクベスからの手紙を読んでいる。この場面は非常に有名。特にマリア・カラスの歌唱が有名。(シェイクスピアでは第5場) マクベス夫人は帰還したマクベスに、今夜訪れる王を夜中に亡き者にしようとマクベスをそそのかす。さらに王を殺したマクベスに、従者に濡れ衣を着せることを提案。マクベスが躊躇するのを見て自らが実行する。王が暗殺されたことを知り、王子マルコムは逃亡。手紙の場面はこのオペラの最大の見所。

第2幕

第1場 王宮。沈み込むマクベスを夫人が励ます。

第2場 城の外。刺客たちがバンクォーとその息子を待ち伏せる。バンクォーは刺される

が、息子は逃げる。

第3場 王宮の広間。マクベスの戴冠の祝宴。マクベスは乾杯の歌の間にバンクォーの亡霊を見て慄く。

第3幕

スコットランドの荒野。魔女たちがマクベスにバンクォーの亡霊とまだ生まれぬ王となった子孫たちを見せる。魔女たちはマクベスが女から生まれたものには殺されないことを告げる。またバーナムの森が動くまで、王座を失わないと予言。

第4幕

第1場 スコットランドの難民たちの合唱。マルコムとマクダフの軍。

第2場 マクベス夫人の徘徊。手についた血を洗い落とせない。

第3場 バーナムの森が動いて、マクベスは死ぬ。

第4場 マクダフとマルコムの軍の勝利